

〈事業報告書〉

I. 理事会及び評議員会

1. 理事会及び評議員会が次のように開催され、下記議事について承認可決された。

① 第1回通常理事会

日 時	令和元年5月15日	午前12時00分
場 所	福岡市中央区平尾3丁目16番17号	本部役員室
議 事	第1号議案	平成30年度事業報告並びに決算承認の件
	第2号議案	運用財産一部取崩の件
	第3号議案	定期提出書類承認の件
	第4号議案	定時評議員会の日時及び場所並びに目的である 事項等の承認の件
報告事項	代表理事及び業務執行理事の執行状況報告	

② 定時評議員会

日 時	令和元年6月4日	午後12時00分
場 所	福岡市中央区平尾3丁目16番17号	本部役員室
議 事	第1号議案	平成30年度事業報告並びに決算承認の件
	第2号議案	理事・監事任期満了に伴う新役員の選任の件
	第3号議案	永光墓園 永代管理移行制度規程制定の件

⑥ 第2回通常理事会

日 時	令和2年3月25日	午後12時00分
場 所	福岡市中央区平尾3丁目16番17号	本部役員室
議 事	第1号議案	令和2年度事業計画並びに予算案承認の件
	第2号議案	令和2年度中における運用財産一部取崩の件
	第3号議案	不知火霊園有期限墓地使用規程並びに合祀墓「慈」及び 不知火御廟使用規程 制定及び一部改正の承認の件
	第4号議案	永光墓園 使用規程改定の件
	第5号議案	永光墓園 財産運用規程改定の件
	第6号議案	永光墓園 職員就業規則改定の件

II. 事業報告

1. 霊園事業（公1）

墓地永代貸付基数の増加により、次のとおりの実績となった。

予算 73,080,000円 実績 72,056,322円（永代使用料・管理料・その他収入を含む）

(1) 墓地、永代供養墓の提供

墓地永代貸付基数は、次のとおり。

	平成31年度予算(基)	令和元年実績(基)	差異(基)
(福岡)規格墓地	55	35	20
自由墓地	5	9	△4
(熊本)規格墓地	15	7	8
自由墓地	5	3	2
総計	80	54	26

なお、永代供養墓における納骨壇の貸付数は7壇、期限付供養墓の貸付数は5壇の実績となった。

(2) 墓地の管理

①霊園事務

墓地利用者等に対する公共的サービスとして、埋蔵・納骨・名義変更並びに使用許可書発行等の手続きを行った。

②霊園の維持、整備

霊園内の清掃、樹木芝生の手入れ、除草、緑地及び各施設の維持管理を行い、霊園内の環境美化の向上並びに緑化整備に努めた。

・墓地区画の設置

現在の社会のニーズに対応するため、福岡中央霊園において、下記区画の墓地を新設した。

→ 福岡中央霊園 規格墓地樹木葬（地上式納骨室墓地） 18基

同霊園 規格墓地1.8㎡（新地上式完成墓地） 26基

- ・不知火霊園内の管理事務所横の空き地に不知火御廟を令和元年11月21日より、販売開始、これに向けての造成工事、墓石設置工事を行った。
- ・令和元年12月2日、福岡中央霊園のロータリーより下のNT-1区画前のトイレ改修工事を行った。

トイレ屋根が経年劣化により一部崩落し、開園以来の旧式のトイレのため、今回の工事となった。

(3) 合同供養の実施

お盆並びに春の彼岸に合同供養を実施した。

また、墓地利用者が祭祀を行うために礼拝堂を貸与した。

2. 墓石（墓地）関連事業及び祭祀用品の販売事業（収1）

予算 47,203,600円 実績 57,616,288円

当期における収益事業等は、墓石料収入（墓石販売等の収入）、雑収入（祭祀用品の販売等の収入、墓地関連業務の収入）等の収入が、57,616,288円予算と比べて10,412千円程、上回った。

昨年に比べて墓石関連事業が不調に終わっているが、利用者から墓地整備に係る業務と昨年4月より委託業者撤退により、墓の清掃サービス、花の販売事業を当財団にて事業を行うこととなり、当該業務の収入が大幅に増加した。

3. 代行サービス事業（収2）

予算 815,000円 実績 7,776円

令和元年4月度に委託業者撤退により、委託件数は4件となった。

なお、撤退により当財団にて直接事業を行うようになった。

4. 法要式・納骨式事業（収3）

予算 60,000円 実績 0円

残念ながら、委託業者撤退により、当期の実績はございません。

III. その他

（1）広報

引き続きホームページを充実し、情報公開を行うことにより利用者への情報提供に努めた。また、広告方法の検討を行い、より魅力的な霊園をアピールした。

（2）運営財源の確保

運営財源を確保するために、安定的な果実が得られる金融商品を検討し、運用を行った。

（3）福利厚生

福利厚生については、職員の健康診断を実施した。

IV. 令和2年度事業計画

令和2年度事業計画については、前年と変わらず緊縮型の予算とした。

平成31年度分の事業報告の附属明細書

平成31年度の事業報告の内容を補足するような重要事項は、特にございません。

以 上